

虫歯・歯周病が重症化

7/24
五郎

大阪府歯科保険医協会がアンケート

大阪府歯科保険医協会の歯科医院アンケート調査によると、「口腔炎の受診中断で患者の虫歯・歯周病が重症化していることがわかりました。

調査は、開業医会員の3割（1222人）を無作為抽出し、6月22日から26日まで実施。回答率11.7%。それによると、新型コロナの感染拡大で受診を手控え、その後、急性症状で来院した患者が「いた」との回答が67.6%に上りました。具体的では、△虫歯の進行で歯髓炎を発

症▽歯周病治療の中止など、強い痛みに耐えかねて受診した事が複数寄せられました。

1日当たりの患者数

は昨年同時期と比べて「減った」が80.4%を占めました。「緊急事態宣言」解除から1ヶ月経過しても、患者数は回復していません。

感染恐れた受診手控えで

よりの影響が続いている
す。

収入減も9割超

5月の外来患者数と保険診療収入は、前年同月と比べ「減った」が患者数、収入とともに9割超に達しました。経営悪化に対する国と大阪府の支援については「不十分」との回答が国69.9%、府60.1%に上りました。理由として、「(助成金の利用要件が)昨年同月比50%減となっているものが多い。ボーダーライン上なので困っている」と、支援制度の改善を訴える声が複数寄せられました。